

みんなで語る会報告書

- 開催日時 : 平成28年11月1日(火)(19時00分~20時30分)
- 開催場所 : 山川文化ホール
- 参加者数 : 【市民】35人、【市職員】市長ほか11人、【総計】47人

○ 会次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 地方創生について
- 4 意見交換
- 5 地域代表あいさつ
- 6 閉会

○ 意見交換の内容

【市民】

指宿市は、年々、宿泊客が減少してきている。そのような中、「地域の恵み創生事業」に取り組んできたが、結果的に凍結となった。

指宿市の旅館業界の方とも話をしたが、市のことを考えず自分の言いたいことばかりであった。温泉や地熱は、市民のものであって一個人のものではない。議員は、指宿市の発展につなげようという意気込みはあるのか。議会においては、かき回して一向に進行しない。このままでは、指宿市は沈んでしまう。

大きな露天風呂を造り、そこに休憩所、あるいは食堂等ができれば雇用も生まれる。そうなれば、福元区に市営住宅でも建設し、人口を増やしてもらいたい。山川だけではなく、指宿の発展のためにも、この事業の凍結を解除してもらいたい。

<市長>

この事業は、指宿市だけではなく、鹿児島、そして全国に波紋を広げていく事業でもある。

地熱発電のプラス・マイナス面で、色々と問題になっている。

観光客をどうするのかという観点もだが、農業や漁業に生かせないかというものもある。地熱発電は手段であって、目的は雇用を増やす、農業を盛んにする。荷捌き場の所に足湯があったり、船員が来たときに入れるような風呂が、もしこの港にあったとしたら、ここにつけたいという船も増えるかもしれない。そういうことで、雇用を増やす、住みたいまちになる。子育てもしやすい場所になる。そういう具体的なことをもっと説明して理解を深めるべきであったという反省もある。

それと山川地区と、指宿の湯之里、ホテル地区とは考え方が違う。山川地区では、九州電力が何年か安定した地熱発電をやってきた。指宿地区は、すぐ近くの温泉への影響があるのではないかという懸念もある。そのような意味で、様々な観点からの論議を整理しなければならないと考えている。

指宿いわさきホテルは、一番観光客の多い土曜日、日曜日になると、海外からの観光客が600人とか入っている。温泉に裸で入るのは、その中の2割もない。裸で入る温泉文化に慣れていない。外国からの客、インバウンドの方々が来て良かった、また行きたいという地域をつくらなければならない。

例えば、西大山駅からそらまめ畑やオクラ畑を歩きながら、温泉に入って長崎鼻に行って、開聞岳の景観を楽しむといった新たな観光コースをつくる必要があると思っている。それにより、雇用が生まれ所得も安定し、子育てもできるような事業になればと地方創生の目玉として取り組んで

た。

冷静に判断しながら「凍結」というかたちをとったが、今後、このような機会に、皆さんがどう考えているのか、この事業が指宿にとって必要であるのか意見をいただきたい。

【市民】

地熱発電の講習に出たが、環境の部分で疑問に思った。タービンを回す媒体にフロンガスを使うとオゾン層を破壊し、植物の生育や子どもの皮膚への影響も心配される。何度か講習会を行って突き詰めていった方が良くはないだろうか。

<市長>

「まちを何とかして元気にしよう」という想いは同じである。対立しては、まちは良くなる。本音で語って、良い方向にいかなければならない。地熱の環境問題について、貴重な意見をありがとうございました。

<副市長>

バイナリー発電にはフロンガスではなく、沸点が低くて揮発性の高いペンタンという物質を使うため、地球環境問題の心配はない。

<市長>

色々な事業をするにしても、環境問題は大切にしなければならない。

【市民】

外国人観光客が増えてきていると思うが、バスに外国語の説明がなく困っているように見えた。おもてなしが足りないのではないか。

<市長>

外国人観光客に優しい、わかりやすい、そして、訪れて良かったという体制づくりについて、貴重な意見をありがとうございました。

【市民】

福元区のコミュニティ事業に関わる活動をしており、子どもクラブでは保護者会の副会長を務めている。小学生の放課後支援、放課後子ども総合プランについてお尋ねしたい。

指宿には、放課後児童クラブや放課後子ども教室を実施している小学校はない。保育所、幼稚園、認定こども園で小学生の放課後のあずかりを行っている所もあるが、あずかり対応をしている施設がない学区も存在している。この山川校区も、あずけ先がない。県外からの移住者にとっては、当たり前のようにあった学童が指宿にはないことに驚いた。

昔のように、子どもだけで遊ばせておける安全な時代ではない。小学校入学と同時に働き方を変えたり、引っ越したり、入学直後の子どもを家に残して不安なまま働き続けるという方が多く存在している。

福元区では、コミュニティ事業の中で、今年4月から地域ボランティアの方々が、小学生の放課後の見守りを行う「子どもクラブ」ができた。福元区長をはじめ、地域ボランティアの方々の善意でなりたっている。夏休みは地域ボランティアの方々だけでは対応し切れず、地域支援の方や大学生、高校生の助けを借りて何とか対応できた。

ただ、現在は、コミュニティ事業のモデル地区として市から予算の支援があるが、支援が終わった後の不安はある。「指宿市子ども・子育て支援事業計画」の第6章、放課後子ども総合プランでは、地域の実情に応じて検討する、コーディネーターが中心となりプログラムを立案する、検討会を開催するといったことが記載されているが、現在どのように進んでいて、どのように進めていく予定なのか。

<市長>

その通りである。指宿は、子育てのしやすい環境づくりが、まだ十分にはなされていない。

指宿は、放課後児童クラブの成り立ちの際に保育園にお願いしてきた。他の所では、地域の町内会や学校が一緒になって、児童クラブのような活動をする場所を学校の中につくった。その運営協議会の会長は校区公民館長で副は校長と女性の子どもの会の会長と、放課後児童クラブの教室をつく

ていた。そして、帰るときには学校によって乗せて帰る。そうすれば、帰るときも安心である。そういう地区をつくりたいと、担当には指示をしてある。

働く人たちが子育てに不安を持つことなく、安心して働くことができる環境をつくらなければならない。そのことを、今回の総合振興計画の中に盛った。このことは真剣に議会等に働きかけて、解決していかなければならない。子育てのしやすい環境というのは、地方創生の一番だろうと思う。

福元区でモデル事業を行っているが、他の地区でもやりたい。そして、子育てを核とする小学校区をしなければならない。貴重なご意見として、学校施設の利用を含めて、その環境をつくることを約束する。モデル地区として、山川小学校でしてもかまわない。大成小学校でしてもかまわない。安心して働くことのできる地域にしたい。重く受け止めたい。

【市民】

子どもクラブの保護者会をしている。

先ほど市長から、子育てのしやすい体制づくりを約束するという話があった。保護者会や地域の方々に安心してもらえるよう、話の内容を報告したい。

これからも、良い方向に進んでいくように頑張ってもらいたい。

<市長>

私の構想を申し上げます。

例えば、山川小学校には、児童数が減ったのである程度自由に使える教室がある。その2教室位を児童クラブの教室とし、そこに地域の方が行ったり、ボランティアが行ったりしながら、授業が終わるとそこに帰る。そこにはお菓子もあり、宿題もさせる。すんだらドッジボール等の運動をさせる。その責任は、館長や色々な方々など地域がもつ。そうしながら、子どもたちは、安心して学校で迎えに来るまで過ごせる体制ができると良い。これは、絶対にやらなければならないと思っている。

今まで私がいた学校は、全てそうだった。しかしながら、指宿市の最初の放課後子育てプランは、保育園や幼稚園に頼んだ。そして、幼稚園はそのような職員体制を補助金が出るので組んでいる。それを目的に、職員も雇ってきている。新たな体制に持っていくには、その調整も必要である。

しかし、それを言っていたら間に合わない。放課後児童クラブは、今まで小学3年生までであったが、今は6年生までだとか、保育園の狭い園庭で遊べるか、怪我をしたらどうするのか、色々な問題が出てきている。今、協力をいただいて切り替えなければならない。

そこで、モデル地区をつくってやってみて、良ければ広げれば良い。子育てに対する発想を、今、切り替えなければならないと思う。私は、経験もしているので言っている。ぜひ、来年度事業でも、やれる所を見つけてやりたいと思う。

【市民】

高度衛生型の荷捌き場を設置してもらえるということで、かつお節業界としても将来に向かって明るい希望を持っている。少しでも職場環境も良くして、働きやすい環境づくりをしていきたい。

町区のまちな真ん中に、多くのハトがたまっている場所がある。外には本枯れ節を干すため、印象が悪くなるのではないだろうか。個人の所有物ではあるが、何とかならないものだろうか。

<山川支所長>

個人所有の建物であるため、市としても対策がとれずにいる。再三、管理者に対してはお願いをしており、壊れていた窓を塞いだり、ハトがとまりにくい金具を取り付けたりしてもらっている。また、ハトの忌避剤も塗ってはいるが、なかなか効果が得られない。県の担当者や市の農政部及び環境政策課で知恵を出し合っているが、決定的な方法が見つからない状況である。

ハトだけでなくゴキブリもかなりおり、道路にも出てくるため、地域振興課で薬をまいたりしている。道路が汚れた場合には、職員が道路清掃を行っているような状況である。しばらく、様子を見たいと思っている。

【市民】

市が建物を買って、解体するのが一番早いのではないか。

<市長>

最終的には、個人のモラルの問題である。今のところ、何回かお願いもしている。

しかし、食の安全という面で、港の近くにハトが来て糞などをすると信用がなくなる。石巻や焼津に行っても、高度衛生管理型といって鳥も入れない、人間も入るのが大変だ。食の安全という面では、山川港はこれから施設を造ろうとするところである。その近くにあれば、どのような評価を受けるか。もう一度、所有者と親しくしている方からお願いしてもらおうとか、やらなければならない。迷惑な施設については、個人では対応できないので、行政も一緒になって対策を練らなければならないと思う。近所の方も、大変だと思う。解決の方策を練りたい。

【市民】

それと、新しいことをしようとすると、色々と賛成や反対があると思う。地熱の恵み活用プロジェクトは、山川地域にとって大胆で非常に良い案だと思う。外国人観光客が2,000万人を突破する中、指宿の観光客が減っていることに驚いた。もっと、色々と考えなければならないと思う。山川で新しい事業に取り組んでもらえると皆に元気が出て、水産関係、農業関係、雇用関係、教育関係等、様々な分野も充実する。大変だと思うが、どうかお願いしたい。

<市長>

外国人観光客が、指宿も含めて増えている。

先日、台湾に出張したが、温泉に海水浴に来る様な気分で、カップルや熟年の夫婦も来ている。水着に着替えて、温泉を社交場にしている。そこに、私や、観光協会長、ホテル経営者も行った。宗教や文化の違う人たちも指宿の温泉を楽しめるような場をつくることによって、確実に増える。地方創生の目玉として、外国人が温泉を楽しめる、指宿を楽しめる、食を楽しめる、景観も楽しむというようなかたちで施策・事業をしないと遅れる。そのための事業が、地熱の恵み活用プロジェクトであった。

しかし、全国の例と色々あって、それなりの考え方で否定されたので、私はどちらが正しいとは言いません。ただ、地域がまとまってやろうという声は、賛成者も反対者も大切にするだろうと思う。色々な場で説明をしながら、お聞きしながら。今、凍結というかたちをとっている。説明が足りなかった、色々な問題点もプラス、マイナス、両方、考慮すべきだという意見が多くあったので、凍結というかたちをとった。ずっと凍結かもしれないし、皆さんの意見を聞きながら、いつかは安心した事業ができるかもしれない。今は、地熱発電の事業だけがクローズアップされている。プラスアルファの、観光、農業、水産業にそれを生かす、地域に生かす、地域の福祉・子育てに生かす、そういう基金を積んでいきたいと思います。そのような部分もある。しかし、環境問題、温泉への影響、ホテルへの影響というがあるので、そこを皆さんと良く話し合いながら、やった方が良いという市民の多くの声があれば、推進できるだろうと思っている。今後、色々な場で協議をしながら意見の集約を進めていきたい。

【市民】

山川地熱発電所は、年に1~2回程しか草払いをしていない。消防条例等で、草は膝丈を超えてはいけないと定められていると思う。

山川地域では、たばこの植え付け時や8月に畑かん等の草払いをするよう農家に呼びかけているが、地熱発電所は益明けに切った。農家からのクレームがなければ、草を切らないような状態である。しかも、法面は切るが、中の方は切らない。

地熱発電所は観光客が来るべき場所であるのに、そのような状況が10年以上続いている。それがわかった上で、また地熱発電所を造り業務委託をすれば同じことが起こって、観光客にマイナスイメージを与えるのではないか。

【市民】

山川町がヘルシーランドを造った当時は利用客が非常に多く、その余剰分を踏まえて露天風呂を造ろうという流れだったと思う。

そのヘルシーランドは、市町村合併後、指宿市と同じ利用料にしようとすぐに値上がりした。しかし、男湯、女湯ののれんは色あせ、次ののれんには穴も開いている。さらに、西洋風呂の水風呂

の上の天井には穴が開いている。サッシのパッキンも剥がれ、西洋風呂の歩行浴のタイルも剥がれている所がある。2～3か月に一度は、故障中の水栓が必ずある。水栓には、湯あかがこびり付いている。西洋風呂のタイルは、茶色になっている。マッサージチェアの電源も、早くから切っている。

業務委託をしているから、業者の責任だと言うのか。それを監理するのは指宿市の職員であり、その責任者は市長である。観光客が来るような場所ではない。ひどいときには、入浴は9時までとなっているにもかかわらず、8時40分に水風呂の栓を抜かれたこともあった。8時45分になったら、電気風呂やジェット風呂も電気を切られる。どのようなことが行われているかをチェックする機能がない。

地熱の恵み活用プロジェクトが何年後かに再開したら、私の子どもたちが施設に対して税金等を含めて責任を負わなければならない。収益や雇用、そして維持管理費がどの程度かかるのかといった試算もしっかりしてもらいたい。

観光地で成功している北海道では、牧草がきれいに生えているだけの所を見に行っている。黒川温泉は温泉しかなくても、地域の方々が大切にしている素晴らしい景観がある。観光客には、何もなくても、人情やきれいな景観、居心地の良さ、おもてなしが重要である。

<市長>

我々が気付かないところを、利用者の視点でのご意見、ありがとうございます。

観光の面では、大切なことであると思う。地熱発電所のこと、ヘルシーランドの施設の問題については私も直接確認したい。

<産業振興部長>

我々も月に一度は、営業や施設の管理面に対して、観光課と施設の指定管理者とで協議を行っている。いただいたご意見を明日にでも担当にも伝え、今後、指定管理者とも協力をしながら、もれないような管理に努めたい。

ヘルシーランドのプールは12月から1月にかけて全面的な改修を行い、来年には排煙装置を4,000万から5,000万をかけて維持管理を行う予定である。順次、維持管理業務も行っているが、さらに細かな部分の見逃しもないような維持管理に努めたい。

【市民】

県の少子化対策として、「結いの集い」という婚活を10年程行っている。最初の頃からすると、多くの方が集まって、笑いながら話も上手にできるようになっている。出会いの場がないと言っていた若者が、そのような場になれてきたと思う。一人3分ずつ、参加者全員と話ができるよう20対20でやっている。結構、カップルはできるが、なかなか結婚までいかないのが悩みである。仕事場も問題になっているようであるので、良い職場を地域につくって、若者の流出も防ぎたいと考えている。指宿には良い宝物が多くあるので、ぜひ雇用の場を創出し、もうかる物を作っていく、結婚がうまくいくことを願っている。ぜひ、地熱の恵みを活用してつくってもらいたい。

<市長>

地方創生の一番の核になる子育て。結婚をして生活ができるような、そのような場をつくるには、地熱だけでなく色々なものをやるべきだという意見だと思う。やっていただいている方々に対して、ありがたいと思う。

【市民】

去年か一昨年にも市長に聞いたが、砂遊里の風呂の件。「地熱の恵み活用プロジェクト」の凍結により、向こうも凍結になるのか。以前の市長の答弁は、一緒に改装するというものであった。

また、風呂では石けん等も使えないので、高さを上げると浄化槽をつけることもできるのではないだろうか。

<市長>

砂遊里は波や天候による影響もあるので、総合的に改装をしなければいけない。「地熱の恵み活用プロジェクト」の中で全面的にできればという思いがあった。ロッカーも小さく、風呂で髪の毛も洗いづらい。

このまま凍結というかたちであれば、砂むしの部分だけでも改装しなければならないと思っている。

【市民】

昨年、福元区では、地下の構造調査も行われた。旅館業経営者の中でも、試掘はすべきではという意見もある。その上で、有効な資源なのかを含めて検討した方が良いのではという意見もあることだけは申し上げておきたい。

【市民】

最近、安全保障上の問題で、東シナ海が物騒である。日本最南端の山川港を、大型船が入れるような外港を再構築してもらいたい。大型巡視船が寄港できるような場所は、非常に大事であると思う。現在、九州では佐世保が基地になっているが、あのような船が立ち寄って燃料の補給をするような拠点にすべきだと思う。鹿児島湾には喜入基地がある。火が吹くような事故でもあれば、火の海と化す。山川のみなと祭りでも、掃海艇が入っている。たくさんの軍用船が、潜水艦も含めて入ってくる。寄港地は桜島沖にアンカーを入れいている状況であるが、このような基地を山川港に考えてもらえないだろうか。そうすることによって、色々な対応が可能になる。特に巡視船については、現在、不安定な状況の中で沖縄におんぶに抱っここの状態である。

山川港は、そのような基地をもっていた立地的にも良い場所であるが、浅瀬であるため非常に厳しい部分もあると思うが、ぜひ推進してもらいたい。

<市長>

山川がどのようにしたら元気になるのかという観点で、今日はお話をいただいた。意見として相容れないことも、考えてみる良い機会だろうと思う。多様な意見を自分の中に受け止めて、では山川をどうするのか。そのような話し合いにしたかった。

現実的な課題を、たくさんいただいた。すぐに解決できることも、いくつかある。今日は、そのような意味でありがたかった。

地方創生の中で、様々な問題が湧き上がっている。特に、地熱の恵みについては、今日お集まりの方々の身近な問題である。これをどうするのか、貴重な意見をいただいた。ぜひ、これから解決できるのは、このようなことだ。支所長をとおして、できる回答は皆さんに必ずお返ししたい。ご意見をいただいた方々に、感謝を申し上げる。